



時間一杯最後まで走りました！

2月2日（月）に各学年で「持久走チャレンジ」を行いました。「持久走チャレンジ」の目的は、時間一杯走り抜き、時間内でどれだけ走ることができるのかを知ることです。その上で体力の向上を図っています。1年生は3分間、2年生は4分間、3・4年生は5分間、5・6年生は6分間、運動場のコースを走ります。

学校の教育課程の基準となる「小学校学習指導要領解説（体育編）」では、高学年での持久走が、体づくり



運動に位置付けられており、例として5、6分走ることが示されています。また、安全の確保や時間の有効利用などを考慮して、2年前から実施をしています。子どもたちは、自分の目標を決めてそれを超えられるように体育科の授業を通して、練習を積んできました。本番当日

には、さらに一生懸命頑張っていました。そういった子どもたちの姿を、大勢の保護者の皆様に見ていただくことができました。時間一杯走った後に起こる保護者の皆様の拍手が、子どもたちにとって励みになりました。ありがとうございました。



今年度の教育計画の中に「粘り強く、たくましさを養う活動」

を掲げていますが、今回の持久走チャレンジはその一つです。6分間、最後まで一生懸命走り切った6年生の姿は、大変印象的でした。これからも、学校の教育活動の中で、粘り強さや一生懸命頑張ることの大切さを学んでいくことができるようにしたいと思います。

遠足のおやつ代について

今月末に各学年で遠足を実施します。子どもたちにとって、遠足は楽しい学校行事の一つです。遠足の目的は、現地で学ぶこと、友達とコミュニケーションを図ること、公共のマナーやルールを学び実践すること、交通安全に留意することなど、たくさんあります。ほかに「予算内でおやつを買うこと」も大事な力ではないでしょうか。

潮見小学校では、遠足のおやつ代をこれまで「300円以内」としていましたが、今回から「350円以内」としました。ある児童が、夏休みの自由研究で遠足のおやつ代について調査をして、世代ごとにおやつ代のインタビューをしたり、300円以内で買える菓子を示したりしました。「昔よりも物価が上がっているのに、遠足のおやつ代だけあまり変わってないのはおかしい」というのが、研究の出発点。2年前の調査ではありますが、おやつ代の全国平均額が426円というデータもありました。自由研究があったから、というわけではありませんが、物価高騰の折、子どもたちが買える菓子の選択肢が少なくなったのは事実ですから、全国平均までにはいたりませんが、50円アップしました。もちろん「350円分買いましょう」という訳ではなく、「食べきれる分量のお菓子を買えばよい」ので、300円以内でも 200円以内でも構いません。金額や自分が食べられる分量を考えながらおやつを買ってほしいと思います。

